



常設展『戦前のラジオ体操と1巡目大分国体』

今年、昭和100年を迎える年にちなんで調査したものの中から取り上げ、展示を行っています。

題名のように、現在も国民に親しまれ、あるいは世代によりましては最も体にしみついている動作の一つでしょう「ラジオ体操」の始まりと普及、そして、戦後「スポーツ」の普及・浸透に大きな役割を果たしてきた国民体育大会の「昭和41年大分大会」に絞ってピックアップ

ラジオ体操がいつ頃始まったか、ご存じですか？

少し話がずれますが、ラジオ体操って、丁寧にしっかりとやると、あちこちの関節や筋肉を動かすので、けっこう負荷もかかってストレッチ効果も得られますよね。

また、1巡目国体のことでは、当館には当時の写真が数多く保管されています。その一部と、県下各地の開催種目などをご覧いただきたいと思います。

会期予定：令和8年8月1日（土）～ 令和9年1月23日（土）

開館時間：火～土 9：00～17：00 （無料）

豊の国情報ライブラリー1階の先哲史料館展示室（県立図書館エントランスから）では「絵図ざんまいっ！」と題し、県下に残る素晴らしい絵図史料を展示しています。歴史や地理、ふるさと好きにもたまらないこの企画、ぜひお越しください。

